

Collaborative Nature Restoration



できることから始めよう
水辺の小さな自然再生事例集

【編著】「小さな自然再生」事例集編集委員会
【監修】玉井信行
【発行】日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

はじめに ～本書をご活用頂く皆様へ～

このたび「水辺の小さな自然再生事例集」をまとめ、皆さんにお届け出来ることとなりました。これまでの多くの活動によりたくさんの川がいろいろなかたちで再生されてきています。これらの事例のノウハウを多くの方々に共有していただくためにこの事例集を発行しました。全国各地でさまざまな取り組みをしていることに皆さんの情熱を感じます。川は生きものです。場所によっても、季節によってもその変化は千差万別で、同じやり方でどこでも成功するわけではありません。そこには試行錯誤と創意工夫、さらには取り組む皆さんの汗と涙が注ぎ込まれています。

今回の事例集はそのような方々の取り組みを紹介することにより、さらに皆さんが取り組んでいるテーマが大きく成果を上げられるように、知恵とアイデアの宝庫を共有することが目的でもあります。大いに参考にしていただきたいと思います。

このような事例の底辺に流れるのはまさにアダプト精神です。自分たちの取り組みの一つ一つが川を豊かにし、美しさや潤いを感じられるようにすることは、地域に住む多くの人々のやさしい気持ちを醸成することに繋がります。そしてこのような小さなきっかけが河川空間だけでなく地域全体に広がり、人と人との助け合いや譲り合う気持ちとなっていくのだと思います。まさに「小さな自然再生」は「大きな人々の繋がり」として発展していくのです。

福岡県柳川市の柳川も東京都江戸川区の古川親水公園も、最初の取り組みは小さな小さなゴミ拾いから始まりました。そのような取り組みが地域に賛同する人々の気持ちを育て大きなうねりとなって、今に繋がっているのです。今回の事例集は、そのような大木に育つ芽がたくさん紹介されています。これらの芽を今取り組んでおられる方々だけでなく、多くの人々の活動に育てていくことが私たちの役割です。今回の取り組みを礎にして皆さんで大きな木に育ていずれば大きな森にしていきましょう。

今回の事例集をまとめるにあたって、ボランティアで集まっていたいただいた15人の編集委員(巻末1参照)の皆様、誠にありがとうございました。皆さんは河川の専門家ばかりではなく、川をフィールドに多くの方々とともに学びたいという方にもご参加いただきました。さらにはどのように多くの人に伝えていこうかということでは、鶴川女子短期大学講師の本間由佳さんに様々なアイデアとこだわりを取り入れながらデザインを担当していただきました。東京大学名誉教授の玉井信行先生には事例集全体の監修をお願いし、合わせて座談会の座長、あとかきの執筆もお願いしました。

このように、今回の事例集は、有志の方々の専門性と得意技を結び合わせた手作りによるものです。これだけの事柄が盛りだくさんに集約できたのも、地道にがんばっておられる方々の成果があったからこそと言えます。

この事例集が、全国各地の取り組みの大きな意欲と活力に繋がるものと思います。是非、本書を手にとってお役立てください。

2015年3月

日本河川・流域再生ネットワーク
(JRRN) 代表理事
土屋 信行

目次

はじめに	～本書をご活用頂く皆様へ～	1
1	水辺の小さな自然再生とは	6
	・水辺の小さな自然再生とは	
	・小さな自然再生を地域づくりに	
	～上西郷川を例に～	10
2	水辺の小さな自然再生を行うための留意点	14
	・小さな自然再生を行うための留意点	
	・安全管理について	18
3	事例紹介	22
	事例紹介MAP	
	駒生川 [北海道]	24
	黒須田川 [神奈川県]	28
	五条川 [愛知県]	32
	天神川 [岐阜県]	36
	桂川 [岐阜県]	40
	天野川 [滋賀県]	44
	喜撰川 [滋賀県]	48
	高時川 [滋賀県]	52
	住吉川 [兵庫県]	56
	安室川 [兵庫県]	60
	島田川 [山口県]	64
	室見川 [福岡県]	68
	上西郷川 [福岡県]	72
	特集 上西郷川現地にて	
	～島谷先生インタビュー～	
4	座談会	82
	「小さな自然再生」事例集制作座談会	
	巻末資料	
	巻末1 編集協力者紹介	92
	巻末2 小さな自然再生の現場へ行ってみよう	95
	～AQMAP紹介～	
	巻末3 参考図書	97
	あとがき	98
	～小さな自然再生事例集制作の総括を兼ねて～	

